

中学校給食公開アンケート回答 高橋 昌和 氏

1. 秦野市の中学校完全給食について市長に立候補した際は、「任期中に実施を決定する」ことを公約としますか。

- はい       いいえ       どちらとも言えない

2. 秦野市の中学校完全給食を実施する場合、検討対象とする方式をすべて選んでください。

- 自校方式       センター方式       親子方式       デリバリー方式
- その他の方式（どのようなものか下欄に記載してください）

地域活性化、官民連携事業、NPO 法人の活用等を踏まえた秦野版の給食方式を考えていきます。

3. 秦野市で中学校完全給食を実施にすることにより複数の影響があると思いますが、あなたが考える優先したい（こういう給食にしたい）点を3つ挙げてください。

・学校給食法に定められている7つの目標を実現する給食であることを大前提とした上で、次の3つをめざす給食像とします。

(1) 安全・安心・安定の学校給食

・食の安全は全ての基本であり、学校教育全般にわたる安心に繋がります。また、年間を通して計画的に安定した給食の提供が、食教育の充実を支えることになると考えます。

(2) 温かい給食

・冷たく冷えた米飯やおかずは生徒たちの食欲を減退させるだけでなく、食育の効果を半減させてしまいます。秦野の小学生と同じように中学生にも温かい給食を提供できる小中一貫給食を是非実現したいと考えています。

(3) 地産地消の食材を活用

・秦野産の食材に関心を持つことで郷土愛を育むことになるとともに、中学校におけるキャリア教育につなぐ機会にもなります。

4. 中学校完全給食を実施するにあたり予算をどうするか、また行程や実施時期など具体的に考えている点がありましたら記載してください。

(1) 予算

・具体的な方式の検討に併せて必要な見積もりを行い、重点施策としての予算措置を講じます。

(2) 実施に向けた計画、見通し

・市長就任後、速やかに中学校給食実施委員会（仮称）を構成し、具体的な方式、予算、実施計画の策定に取り組みます。

・準備期間を含め、すべての中学校9校が一斉に実施できるようになるには2～4年を考えています。

5. その他、子育て世代に向けて実現をしたいと考える政策がありましたら3つまでお書きください。

(1) 地域医療の充実・強化

・秦野赤十字病院における速やかな分娩業務の再開

・同病院における小児医療やがん治療などの専門医療を充実・強化

(2) 妊娠から出産～育児までを支援する「子育て世代包括支援窓口」の創設

(3) 小児医療費の助成拡大（中学3年生までの医療費の無料化推進）

6. 子育て世代に限らず秦野市としてどのような市になって欲しいと思いますか。

秦野は、私にとって魅力と可能性にあふれた自慢のふるさとです。しかし、全国的に人口減少、超高齢化が急速に進む現在、秦野市でも、これまでの「人口増加を前提としたまちづくり」から「持続可能なまちづくり」へと意識改革していくことが求められています。

水と緑に育まれた大地、そして歴史と伝統の下に営々と築かれてきた文化を大切にしたい夢や希望にあふれる「水とみどりに育まれた人にやさしい元気あふれる都市」を目指します。

7. 問6を実現するにあたって具体的に考えている政策がありましたらご記入ください。

私の政策集「秦野みらいづくり構想2018」にお示したとおりです。

8. 市民に一言お願いします。

秦野を変える新しい風がこれからの秦野には必要です。中学校給食は市の行政課題、重点施策として予算化するという決断をすることで実現できます。秦野市にはこのように新しい風によりマンネリを活気に変えることができる課題がたくさんあります。「秦野みらいづくり構想2018」へのご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。